

ダムの下流で起きる川底の「露盤化」をどうするか？

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 水産総合研究センター
	公開日: 2024-06-04
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 中村
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2006669

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



ダムの下流で起きる川底の「露盤化」をどうするか？

背景と目的

川にダムが作られてしばらくたつと、その下流で川底の岩盤がむき出しになることがあります。これを「露盤化」といいます（写真 1）。上流から流れてきた砂礫がダムで止められて、下流に供給されなくなるからです。

露盤化はすでに起きていますが、これからもっとたくさんの川で起きると考えられます。しかし、露盤化が魚に及ぼす影響はまだわかっていません。

そこで、露盤化が魚に及ぼす影響を明らかにし、露盤化への対処方法を考えました。

成 果

露盤化により、魚の数が減ることがわかりました（図 1）。

露盤化への対処方法として、ダムの透過化（スリット化）による砂礫の流下促進と、流下した砂礫を川底に止める構造が必要であると考えられました。



写真1 川底の露盤化

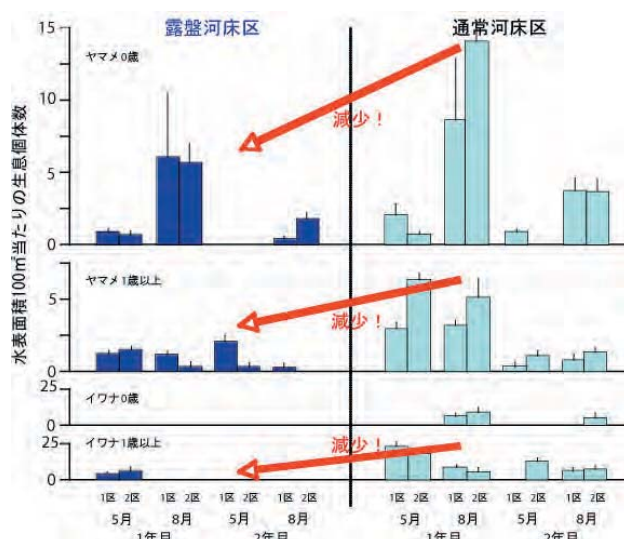


図2 露盤化による魚類の減少

波及効果

露盤化が魚に及ぼすマイナスの影響が明らかになり、国土交通省などの河川管理者がその対処方法の実施を検討し始めました。

国土交通省への協力により、ダムへ魚道を付けることのかわりになる、渓流魚（イワナ、ヤマメ）の人工産卵河川の造成技術を開発しました。そして、その技術を紹介したパンフレットとマニュアルを作成して、関係機関（国や県、漁協）に配布しました。

問い合わせ先：内水面研究部（日光庁舎）生態系保全研究室（中村）